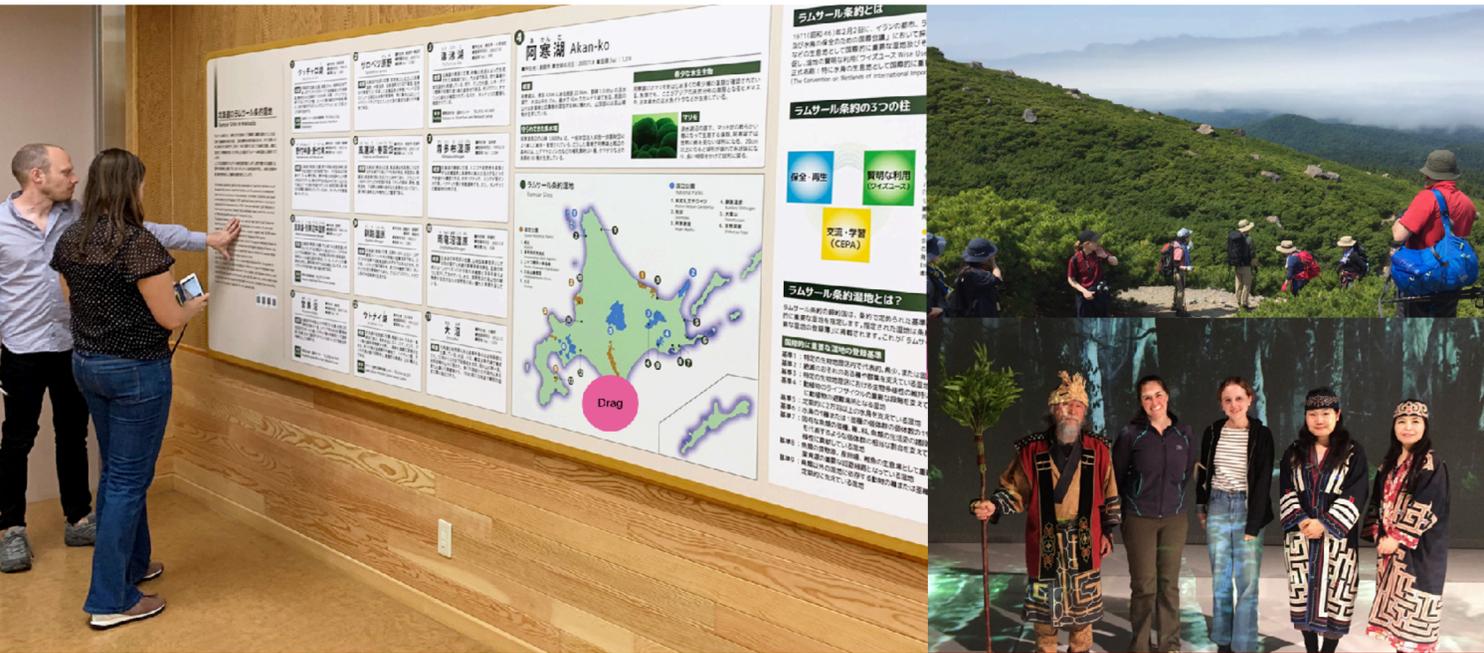


コンテンツ制作

観光庁 地域観光資源の多言語解説整備支援事業

訪日外国人旅行者の滞在満足度向上に寄与する、
読みやすく、分かりやすい魅力的な多言語解説を作成



事業名

地域観光資源の多言語解説整備支援事業

発注者

凸版印刷株式会社／観光庁／株式会社オールアバウト

受託年度

令和元年度

令和元年度 担当実施地域／地域協議会名

古都京都の文化財／梅尾山 高山寺、古都京都の文化財／慈照寺（銀閣寺）、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群／「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会、石川県金沢市 兼六園、加賀友禅 等／公益社団法人 石川県観光連盟、平安神宮／平安神宮、太宰府天満宮、勸世音寺 等／太宰府市日本遺産活性化協議会、利尻礼文サロベツ国立公園／北海道（利尻礼文サロベツ国立公園）、知床国立公園／北海道（知床国立公園）、阿寒摩周国立公園／阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会、釧路湿原国立公園／北海道（釧路湿原国立公園）、大雪山国立公園／北海道（大雪山国立公園）、支笏洞爺国立公園／北海道（支笏洞爺国立公園）、磐梯朝日国立公園／磐梯朝日国立公園多言語化促進協議会、吉野熊野国立公園／南紀熊野ジオパーク推進協議会、皇居外苑／環境省皇居外苑管理事務所

提供サービス

コンテンツ戦略
現地取材・コンサルティング
英語コピー作成・編集

地域観光資源の多言語対応における現状と課題

訪日外国人旅行者の滞在満足度向上を目指して、観光資源の多言語解説文を作成する取り組みが全国各地で進められています。観光庁が平成30年度に実施したアンケート調査では、旅行者の9割以上が「観光地の解説文を読む」と回答。しかし、既存解説文に対して「必要とする情報が載っていない」「内容が難しすぎる」「英語表現が不自然」と感じる旅行者もあり、地域の観光資源の魅力を十分に伝え切れていない等の課題があります。

観光庁では、文化庁・環境省と連携して「分かりやすい多言語解説整備推進委員会」を立ち上げ、「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」を実施。ファンキー・コープは、英語解説文作成を担う専門人材（制作会社）として、本事業に携わっています。

日本の英語観光解説を根本から変える新たな取り組み

本事業は、魅力的な多言語解説文を作成できる英語ネイティブライター等の専門人材等を派遣して、日本全国の主要観光地で解説文の作成を支援するもの。有識者委員会、地域協議会、事務局、そして地域協議会と共に解説文作成を担うライター、エディター、校正者、専門の見地から助言を行う内容監修者、文体や表現をチェックするコピーエディター、さらに事務局や地域協議会との調整を行うディレクターが読みやすく、わかりやすい魅力的な解説文作成のノウハウを蓄積してガイドラインを作成し、他地域へ横展開を目指しています。

自然から文化財、観光まで15地域の解説文を担当

弊社制作チームは、令和元年度事業で「国立公園」「世界遺産」「国宝・重要文化財」等に加え、「地域伝統芸能」「祭り」「食文化」及び「温泉」等の観光資源を含む15地域を担当。現地取材を通じて弊社所属の英語ネイティブエディターが既存の解説文の問題点の特定や、新規解説文の提案を行い、訪日外国人旅行者の興味・関心を踏まえた読み手の興味を掻き立てるストーリー展開を組み立てて執筆を進めました。

日本人と外国人旅行者の間にある日本文化等についての知識や認識の違いを踏まえ、解説看板、パンフレット、ウェブサイト、音声ガイド等の媒体特性に考慮しながら、事業のライティングスタイルに沿った明瞭な言い回しで、観光資源の新たな魅力を引き出しています。

官公庁・自治体インバウンドコンテンツ制作の豊富な経験を生かして

弊社が本事業に起用された背景には、執筆難易度が高い文化財から、自然、観光まで幅広い分野に対応する高度な英語執筆ノウハウと、外国人視点のインバウンドコンテンツ制作における実績が挙げられます。現地取材を行う英語ネイティブライターとバイリンガル日本人ディレクターはすべて弊社所属の正社員であり、強力なチームワークで地域協議会とのコミュニケーションをサポート。

対象となる地域の中でも多言語解説の重要度が高く、専門の有識者委員会で解説文の承認が必要となる「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群や太宰府市日本遺産、吉野熊野国立公園、皇居外苑の解説文作成も弊社制作チームが手掛けました。